

大橋 幸子：日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 講師
学位：修士（保健医療学）（就任：平成 19 年 4 月）

○教育担当科目

基礎ゼミ、基礎作業学実習、身体障害作業療法学演習Ⅱ、日常生活活動学演習Ⅱ、義肢・装具学演習、作業療法評価学臨床実習、作業療法評価学臨床実習セミナー、作業療法総合臨床実習Ⅰ、作業療法総合臨床実習Ⅰセミナー、作業療法総合臨床実習Ⅱ、作業療法総合臨床実習Ⅱセミナー、卒業研究

○業績目録

I. 著書：単独著書、分担執筆（辞書、全集などを含む）、翻訳、編集および監修など
△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 就任後の著書

1. 理学療法リスク管理・ビューポイント（分担執筆）：文光堂，大橋幸子；74-75，（編集丸山仁司），2007.
2. イラスト作業療法ブラウン・ノート（分担執筆）：メジカルビュー社，大橋幸子；44-49，70-75，110-127，240-269，（編集 長崎重信），2008.

II. 学術論文

①論文

1. 大橋幸子，林 隆司，本田 豊，田島一美，西田典史：介護老人保健施設利用者の心理・精神機能がADLに及ぼす影響。埼玉作業療法研究，第6号；8-12，2005.
2. 本田 豊，西田典史，大橋幸子，田島一美：健常成人の作業行動に関する-考察-達成行動における成功・失敗後の期待変化の研究-。埼玉作業療法研究，第6号；20-24，2005.
3. 田島一美，本田 豊，西方浩一，大橋幸子，西田典史：臨床実習直前の学生に対する「リスク管理」の授業の意義-ロールプレイを用いて問題提示した授業の評価と感想による考察-。埼玉作業療法研究，第6号；25-29，2005.

②その他の論文

1. 林 隆司，大橋幸子，猪股高志，池田正明，野村正彦，今井輝子：介護老人保健施設における聴力障害についての検討～オーディオメータ・言語了解度テスト～。埼玉医科大学短期大学紀要；21-27，2003.
2. 林 隆司，小椋一也，佐々木明男，大橋幸子，池田正明，猪股高志：介護老人保健施設における運動機能・認知機能を含めたADL評価表作成の試行について。芝浦工業大学研究報告人文系編，第38巻，第1号；123-127，2004.
3. 大橋幸子，林 隆司，本田 豊，田島一美，西田典史：介護老人保健施設利用者の抑うつ傾向について。埼玉城西学園研究紀要，1巻1号；22-25，2006.
4. 西田典史，本田 豊，西方浩一，大橋幸子，田島一美：訪問リハビリテーションにおける運動負荷の検討。埼玉城西学園研究紀要，1巻1号；59-64，2006.
5. 本田 豊，大橋幸子，田島一美，西田典史：更衣動作の自立度と作業遂行能力との関係。埼玉城西学園研究紀要，1巻1号；65-68，2006.
6. 本田 豊，田島一美，大橋幸子，西田典史：高齢者の回想量とQOLとの関連について。

埼玉城西学園研究紀要, 1巻1号; 69-73, 2006.

7. 西田典史, 本田 豊, 西方浩一, 大橋幸子, 田島一美: 他職種連携運動プログラムによる在宅要介護高齢者の運動機能への影響. 埼玉作業療法研究, 第7号; 31-35, 2006.

②その他の論文

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 赴任後のその他の論文

1. 大橋幸子: 認知症への非薬物療法. 日本医療科学大学研究紀要, 第2号; 49-61, 2009.

IV. 学会および研究発表

【国内学会】

①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど

1. 大橋幸子: 転倒転落予防のリスクマネジメントとケーススタディ. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会リスクマネジメント研修会, 2006.
2. 大橋幸子: 生活リハビリテーションについて. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会生活リハビリテーション研修会, 2007.
3. 大橋幸子: 事故報告書の活用とご家族・利用者への説明. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会リスクマネジメント研修会, 2007.
4. 大橋幸子: 事故報告書の活かし方. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会リスクマネジメント研修会, 2007.
5. 大橋幸子: 認知症の非薬物療法. 秩父リハ関係職員研修会, 2008.
6. 大橋幸子: 地域リハビリテーション教育の現状シンポジスト. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会リハビリ関係職員研修会, 2009.
7. 大橋幸子: 事故報告書の活かし方. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会リスクマネジメント研修会, 2009.
8. 大橋幸子: 職員へのリスク教育. (社) 埼玉県介護老人保健施設協会リスクマネジメント研修会, 2009.

②一般演題などの発表

1. 林 隆司, 大橋幸子, 鶴田昌子, 蓮沼万利子, 鈴木良夫: 老人保健施設のリハビリテーション業務について. 第8回全国老人保健施設大会, 千葉, 1997.
2. 林 隆司, 大橋幸子, 鈴木良夫, 今井輝子: 痴呆を伴った大腿骨頸部骨折社者のリハビリについて. 第9回全国老人保健施設大会, 岡山, 1998.
3. 林 隆司, 大橋幸子, 鈴木良夫, 今井輝子: 老健における聴力障害についての検討. 第10回全国老人保健施設大会, 長野, 1999.
4. 林 隆司, 大橋幸子, 鈴木良夫, 今井輝子: 狭山市の認定審査会における現状と問題点. 第11回全国老人保健施設大会, 三重, 2000.
5. 林 隆司, 大橋幸子, 蓮沼万利子, 塚本由美子, 戸原康之, 鹿中紀子, 鈴木良夫: 老人保健施設のADL評価についての検討. 第12回全国老人保健施設大会, 東京, 2001.
6. 林 隆司, 大橋幸子, 浅川絵夢, 小出静香, 山崎健一, 池田正明, 野村正彦, 赤嶺和紀, 今井輝子: 老健でのADLに影響を及ぼす心理・精神症状の分析. 老人保健施設のADL評価についての検討. 第14回全国老人保健施設大会, 香川, 2004.
7. 林 隆司, 浅川絵夢, 戸原康之, 大橋幸子, 山崎健一, 赤嶺和紀, 今井輝子: ビジュアル・ケーススタディによる転倒・転落の検討. 第15回全国老人保健施設大会, 北海道,

2003.

8. 浅川絵夢, 大橋幸子, 井上裕代, 熊谷沙織, 林 隆司: 介護老人保健施設における転倒・転落予防対策について, 第10回埼玉県老人保健施設大会, 埼玉, 2005.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 赴任後の発表

1. 大橋幸子, 林 隆司: 介護老人保健施設利用者の抑うつ傾向について, 第19回埼玉県作業療法学会, 埼玉, 2009.
2. 大橋幸子, 浅川絵夢, 目黒 篤, 林 隆司, 丸山仁司: 介護老人保健施設利用者の転倒と注意機能について, 第43回日本作業療法学会, 福島, 2009.
3. 大橋幸子: 介護老人保健施設における転倒事故と再発防止対策のSHELL要因による分析, 第20回埼玉県作業療法学会, 埼玉, 2010.

V. 学術関連広報活動

①学会賞受賞、学会会長および世話人

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 赴任後の業績

②その他

【委員歴】

1. 実習委員会委員; 2006~2008 (日本医療科学大学保健医療学部).
2. ハラスメント委員会委員; 2006~2010 (日本医療科学大学保健医療学部).
3. 広報委員会委員; 2008~2010 (日本医療科学大学保健医療学部).

【大学院研究指導】

VI. 現在研究中のテーマ

1. 介護老人保健施設におけるリスクマネジメントに関する研究
2. 介護老人保健施設利用者の転倒予防に関する研究
3. 介護老人保健施設利用者の心理に関する研究
4. 認知症の作業療法に関する研究